

(特非)福島県防災士会 会報

特定非営利活動法人 福島県防災士会 事務局発行 2018.04.01 №011

『ふくしま防災フェア2017』【南相馬市】



10月28日に参加した会員(5名)



10月29日に参加した会員(4名)

10月28日(土)・29日(日)の2日間に渡り、南相馬市のジャスマールの駐車場を会場に『ふくしま防災フェア2017』が開催されました。当会は、子供たちを対象としたロープワークで出展し、「本結び」と「巻き結び」の2種類を実施いたしました。

28日は、晴天に恵まれて約200人がロープワークを行いました。子供を対象に進めておりましたが、大人の参加者の方が本気でされる方が多く、中には漁師の方が「いろいろな結び方を教えて欲しい。」と要求される場面もありました。参加した会員は、消防のOBや登山を趣味の会員がおり、何とか対応することができました。

29日は、秋台風の影響により、未明より大雨になり、寒い大変な1日でしたが、来場者にも恵まれ乗り切ることができました。

来年は、会津が会場になるようです。会津・南会津方部の方は、ご協力ください。



ロープワークを指導する会員

『地域ふれあい防災体験会』【泉崎村】

去る11月5日(日)泉崎村主催の『地域ふれあい防災体験会』が、泉崎村立泉崎第二小学校で開催されました。これは、村民に対して自然災害に対して適切な行動や知識を身に着けるために、地元の消防団や各防災団体等と連携が行えるよう企画されたものです。弊会では、毛布担架、段ボールベット、災害避難時の「三種の神器」、防災グッズ、熊本地震の教訓、なまずの学校(防災クイズ)の6つのコーナーを担当いたしました。その他に消防署や消防団では、ミニ救急車への搭乗やもくもくハウス(煙体験)、水消火器消火訓練が行われ、消防職員による放水訓練もありました。当日は、約300人が参加して大盛況のうちに終了いたしました。



毛布担架搬送・なまずの学校(防災クイズ)・防災グッズ説明を行う参加メンバー

日本防災士会会員の活動理念

- 第1. 日本防災士会会員(以下「会員」という)は、地域防災力の向上に努め、防災協働社会の実現に寄与することを活動の基本理念とする。
- 第2. 会員は、地域の防災活動に参画し、災害の事前対策、応急対策(復旧・復興活動を含む)等、地域の防災活動計画の策定・実施に関し、指導的役割を果たすものとする。
そのために、次の事項に積極的に取り組むものとする。
 - 1 会員相互のネットワークを構築し、協力関係を確立する。
 - 2 地域防災活動のリーダーにふさわしい防災知識・技能の研鑽に努めること。
 - 3 自治体と緊密な連携を図ること。

『女性活動推進部会活動』【県内】



福島民報社の取材を受ける
葉谷理事長(左)と鈴木理事



災害時のコミュニケーション体験
ワークショップの風景

1月17日(水)は、23年前に発生した阪神淡路大震災の日で「防災とボランティアの日」でもありました。鈴木ひとみ理事の活動が認められ、予めから取材を受けていた福島民報の女性活躍の記事が掲載される日でした。

また、『はぐくみ防災サポーターズ』の皆さんと交流することができて、災害時を想定したコミュニ

ケーション体験のワークショップに参加させていただきました。今後については、女性消防クラブの皆様や地元で命を守る活動を行っている女性の団体の方々と交流を図り、いつか必ず起こる大規模災害に備えるために、協力・連携ができるような活動の結びつけが出来ればと思っております。

『第9回いわきサンシャインマラソン救護員活動』【いわき】

去る2月11日(日)に第9回いわきサンシャインマラソンが行われました。今年は、いわき方部会より14名が救護員として参加いたしました。当日は、7時45分にコース近くの集合場所に参集し、マラソン最終制限時間の15時まで救護対応を行いました。午前中は、天気恵まれ暖か良かったですのですが、午後からは、天気が崩れ、寒風が吹きランナーには厳しい状況となりました。私たちが配置されたE班・F班エリアでは、多くの棄権者や体調不調を訴えるランナーが続発し、收容車の手配やランナーの保温対応に大変な一日でした。お疲れ様でした。



福浜郵便局長会より参加されたメンバー(9名)



一番過酷とされるE班に配置されたメンバー

『東北復興アマチュア無線フェスティバル2018』【宮城県仙台市】

3月11日(日)宮城県仙台市の仙台国際センターにおいて、東北復興アマチュア無線フェスティバルが開催されました。NPO法人防災士会みやぎと日本防災士会山形県支部と弊社との3県合同のブースを出展しました。ブースでは、バックアップ電源をテーマに三重県の株式会社ナベル様の協力を得て、『折り



アマチュア無線フェスティバルに参加した会員



宮城県支部 菊地理事長(左から2人目)
山形県支部 大宮理事(中央・青服)

畳み式ソーラーパネル』の紹介も行いました。隣のブースでは、東北福祉大学の学生防災士やNPO法人青森県防災士会の皆様の活動紹介もあり、交流を図り、そして、防災士会活動のPRを行うことが出来ました。普段から、近隣の各県支部との交流は、いざという時に結び付くことなので、今後も近隣支部との交流を続けていこうと考えております。

会員の皆様へ: 会員様各個人で活動したり、地域で行われる行事に参加したときは、その行事の内容と写真を添えて理事長または、事務局長へ連絡するか、事務所にFAX(0246-26-8896)して下さい。Eメールの場合は、理事長宛 t_waragai_bousaisi_19617@yahoo.co.jp へ直接送ってください。皆様の活動状況を記録し、会員の方に知っていただくチャンスです。ご連絡をお待ちしております。